

各位

N P O 法人アサザ基金  
財団法人損保ジャパン環境財団  
株式会社損害保険ジャパン**「田んぼの学校」開催****～従業員・家族、学生に農業体験の機会を提供～**

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 佐藤正敏）が出捐している財団法人損保ジャパン環境財団（以下「損保ジャパン環境財団」、理事長 佐藤正敏）は、茨城県を中心に活動を行うNPO法人アサザ基金（代表 飯島博）と連携し、損保ジャパングループの従業員・家族および損保ジャパン環境財団が実施しているインターンシップ制度（「CSOラーニング制度」）に参加する大学生・大学院生を対象に、5月8日（土）に「田んぼの学校」を開催します。従業員とその家族、大学生・大学院生が、米作りを通じて自然を体験し、食の意味や自然の重要性を肌で感じる機会を提供します。

損保ジャパングループでは、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の推進に力を入れており、この取組みもその一環と位置づけています。「木を植える『人』を育てる」という方針のもとに、今後も持続可能な社会づくりに貢献できるよう推進してまいります。

1. 開催日時                    5月8日（土）
2. 開催場所                    茨城県石岡市の「谷津田」（山に囲まれた谷あいの水田）

**3. 狙いと効果**

損保ジャパン環境財団は、NPO法人アサザ基金に運営を支援いただき、茨城県石岡市にある約2反の田んぼで、無農薬・人力を基本としてコシヒカリを育てています。

谷津田の米作りに無農薬で取組むことで、その下流にある水田の水源を守ることになり、さらにその下流にある霞ヶ浦の水質保全にもつながります。また、農作業や自然観察を通じた学びや、地域活性化へのヒントを得る機会となっています。

さらに、様々な部門から参加する従業員は農作業を協力して進めながら、田んぼを通じた新たなコミュニケーションの機会を得ることができます。肩書きの無い付き合いが新たな関係を生み、そのネットワークが仕事で活用される効果も生みます。参加している大学生にとっては、社会人の先輩に会社や仕事の実態について聞く貴重な社会勉強の時間になります。

**4. 活動予定**

- 5月 8日（土）田植え
- 6月26日（土）草取り・ホタル観察
- 9月11日（土）稲刈り
- 9月23日（木・祝日）脱穀

## <別紙>

### ●大学生・大学院生が環境を学ぶ機会「CSOラーニング制度」

この田んぼに参加している大学生・大学院生が活動する「CSOラーニング制度」は、損保ジャパン環境財団とCSO※<sup>1</sup>の協働により実施しています。2000年度から開始し今年度で11年目を迎え、これまでに約520名が参加しました。この制度では8か月間のインターンシップとして大学生・大学院生を環境に関するCSOへ派遣し、自然保護の現場体験など様々な活動を行います。活動1時間あたり800円の奨学金と交通費を支給し支援しますが、その原資の一部は損保ジャパン従業員による寄付制度「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」を活用しており、従業員が間接的に環境保全活動を支援する機会となっています。

※<sup>1</sup> CSO=市民社会組織 (Civil Society Organization)。NPO、NGOを含む概念。

### 「CSOラーニング制度」2010年度募集概要

- (1) 募集人数 / 関東・関西・愛知・宮城の4地区で合計70名程度
- (2) 選考方法 / 書類審査および面接により選考します。
- (3) 応募方法 / 損保ジャパン環境財団のホームページから応募してください。

<http://www.sjef.org/internship/index.html> (5月5日締切)

### ●田んぼの様子

#### はじめてのイモりに「にっこり」



#### 汗を流してリフレッシュ



#### 「田んぼの学校」



以上